

## シラバス/Syllabus

## ■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	97158002	開講キャンパス/Campus	大阪梅田キャンパス/Osaka Umeda Campus	
授業開講年度/Academic Year	2026年度	オンライン授業60単位制限対象科目 The 60-credit limit for online courses		
管理部署/Administrative Department	経営戦略研究科/Institute of Business and Accounting			
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【550】テクノロジー・マネジメント 2/Technology Management			
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期前半/Fall (1st Half)	曜時/Day and Period
担当者/Instructor	玉田 俊平太(TAMADA SCHUMPETER)			
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年			
履修登録方法 Types of course registration	本登録			
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese			
授業形態 Course Implementation Format	対面授業科目/Face to face format			
授業目的/Course Purpose	本講義では、技術を基にしたイノベーション(新製品・新サービス・新ビジネスプロセスなど)を広く行き渡らせるために必要とされるマネジメントの基礎について学びます。			
授業目的(英文) Course Purpose	Through this course, students will understand the management of technology-based innovation and learn how to make it a widely used practice.			
到達目標/Learning Goals	イノベーションのマネジメントについての基本的事項、すなわち、イノベーションとは何か、イノベーションと競争優位との関係、イノベーションのタイプ、イノベーションのジレンマ、イノベーションから得られる利益を占有するための方法などについて確実に理解することを目標とします。			
到達目標(英文) Learning Goals	Students are expected to master the basics of managing innovation. These include the definition of innovation, the relation between innovation and competitiveness, the innovator's dilemma, open innovation, and ways to appropriate profits from innovation.			
授業の概要・背景 Course Outline	「テクノロジー・マネジメント」は、テクノロジー・マネジメントプログラムの必修科目です。履修に際し、理系の知識は必要とされませんが、新しい物事に対する好奇心はあった方がよいでしょう。			
授業方法 Course Format	全ての授業をハイフレックスで実施予定。テクノロジー・マネジメントに関する基礎的諸概念を学ぶため、パワーポイントのスライドを基にした講義が中心となります。また、必要に応じ企業のイノベーションの事例を紹介すること等により、実践的な知識の習得を図ります。受講者がそれぞれの学問上・仕事上の経験を他の受講者と共有し、相互に高め合うことによって学習効果の一層の向上が期待されます。そのため、期末レポートだけでなく、授業中の発言点のウェイト(10%)が設定してあります。クラスに出席するだけでは発言点は与えられませんのであらかじめご了承ください。なお、グループワークは基本的に行いません。			
関連科目/Related Courses	イノベーション経営			
検索キーワード/Keywords	イノベーション、破壊的イノベーション、オープンイノベーション、両利きの経営、競争力、研究開発			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	イントロダクション(自己紹介、テクノロジー・マネジメントの主要課題)	参考図書『イノベーションの経営学』のデータをダウンロードし、第1章の6頁までを読んでおく。
第2回 Session 2	イノベーションとは何か?(企業価値とイノベーションの関係、イノベーションの語源、イノベーションについて過去の学者はどのように述べてきたか、イノベーションの現代的定義)	教科書『日本のイノベーションのジレンマ〜』の第2章を読んでおく。講義終了後は学んだ内容を復習し、次回の講義で発言できるようにしておくこと。
第3回 Session 3	イノベーション成功の4条件イノベーションの意義(個人にとってのイノベーションの意義、企業にとってのイノベーションの意義、地域や国家にとってのイノベーションの意義)	LUNAにアップロードされたスライドに目を通しておく。
第4回 Session 4	イノベーションの分類法(漸進的 vs 画期的、プロダクト vs プロセス、アーキテクチャ vs 部品、技術融合、ロバスタなデザイン)	参考図書『イノベーションの経営学』の第1章1.2イノベーションのタイプ(6~16頁、ただし10頁から13頁第1段落までのBox 1.1は飛ばしてもよい)までを読んでおくこと。講義終了後は学んだ内容を復習し、次回の講義で発言できるようにしておくこと。
第5回 Session 5	イノベーターのジレンマ-技術革新が巨大企業を減ぼすとき(1):破壊的イノベーションとは何か?	教科書『日本のイノベーションのジレンマ〜』の第3章を読んでおく。
第6回 Session 6	イノベーターのジレンマ-技術革新が巨大企業を減ぼすとき(2):既存優良企業が破壊的イノベーションに対抗できないのはなぜか?	教科書『日本のイノベーションのジレンマ〜』の第4章を読んでおく。講義終了後は学んだ内容を復習し、次回の講義で発言できるようにしておくこと。
第7回 Session 7	イノベーション戦略のためのフレームワーク(1):イノベーションと競争力との関係	LUNAにアップロードされたスライドに目を通しておく。
第8回 Session 8	イノベーション戦略のためのフレームワーク(2):ポーターの競争戦略、ポーターの競争戦略の評価	LUNAにアップロードされたスライドに目を通しておく。講義終了後は学んだ内容を復習し、次回の講義で発言できるようにしておくこと。
第9回 Session 9	イノベーション戦略のためのフレームワーク(3):戦略論の種類と進化	LUNAにアップロードされたスライドに目を通しておく。
第10回 Session 10	イノベーション戦略のためのフレームワーク(4):ダイナミック・ケイパビリティ、両利きの経営	LUNAにアップロードされたスライドに目を通しておく。講義終了後は学んだ内容を復習し、次回の講義で発言できるようにしておくこと。
第11回 Session 11	オープンイノベーション、イノベーションを全体的に理解しないことから生じる問題点	LUNAにアップロードされたスライドに目を通しておく。
第12回 Session 12	イノベーションから得られる利益を専有するには	LUNAにアップロードされたスライドに目を通しておく。講義終了後は学んだ内容を復習し、次回の講義で発言できるようにしておくこと。
第13回 Session 13	破壊的イノベーションを起こすには?(1)	LUNAにアップロードされたスライドに目を通しておく。
第14回 Session 14	破壊的イノベーションを起こすには?(2)	LUNAにアップロードされたスライドに目を通しておく。

教科書/Required texts	著者名:玉田 俊平太 タイトル:日本のイノベーションのジレンマ第2版—破壊的イノベーターになるための7つのステップ 発行所:翔泳社 出版年:2020 ISBN:978-4798166919
参考書/Reference books	著者名:ジョー・ティッド、ジョン・ベサント、キース・パピット タイトル:イノベーションの経営学—技術・市場・組織の統合的マネジメント 発行所:NTT出版 出版年:2004 ISBN:978-4757121263
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	定められた方法により実施します
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 <a href="https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&amp;abinetId=557&amp;directLink=1">https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&amp;abinetId=557&amp;directLink=1</a> ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
成績評価 Grading	平常レポート/Individual reports(04)	90%	期末試験(レポート試験)
	授業への参加度(自発性、積極性、主体性、等)/In-class participation,contribution(09)	10%	クラスでの発言等
	備考 Note		講義に出席するのは当然ですので、出席しただけでは評価されません。クラスで積極的に発言する等、何らかのポジティブな貢献(クラス・パーティシペーション)があつて初めて評価されます。
添付ファイル1/File Attachement 1	イノベーションの経営学.pdf	説明1/Explanation 1	パスワードは「innovation」です。
更新日時/Date of Update	2026年01月12日 23時45分59秒		

#### ■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2026年度	秋学期前半/Fall (1st Half)	日曜5時限/Sunday 5	秋学期前半/Fall (1st Half)	OC1004
2	2026年度	秋学期前半/Fall (1st Half)	日曜6時限/Sunday 6	秋学期前半/Fall (1st Half)	OC1004